

2013年
(平成25年)
2月発行
第5号

宝同協だより

め ぼ 芽 生 え



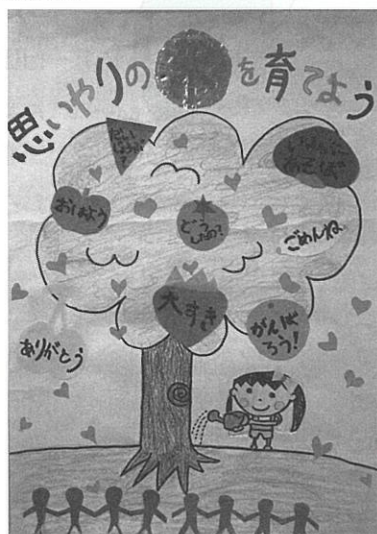
編集発行: 宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号 宝塚市教育委員会 学校教育課 TEL:0797-77-2040 FAX:0797-71-1891

2012(平成24)年度 人権・同和問題啓発作品入賞者決定!!

【ポスターの部】

☆最優秀



高橋璃々子さん
(安倉北小3年)



重山奈来さん
(西谷小6年)



狩野咲良さん
(御殿山中2年)

- ☆優 秀 ・奥山穂香さん(長尾小3年)・小園寧々さん(丸橋小3年)・濱口孔明さん(長尾南小5年)
・杉本佑太さん(安倉北小6年)・高橋依子さん(南ひばりガ丘中1年)・中村勇太さん(中山五月台中1年)
・水戸口舞さん(市民)

【標語の部】

- ☆最優秀 ・殿貝瞳さん(逆瀬台小1年) ・藤田一穂さん(長尾南小6年) ・山田栞里さん(南ひばりガ丘中2年)
・佐伯葉子さん(市民)

- ☆優 秀 ・福岡絢芽さん(逆瀬台小2年) ・飯塚ひかりさん(宝塚小3年) ・北野日佳理さん(安倉北小4年)
・長田美紅さん(光明小6年) ・下村遥さん(長尾中2年) ・村上友規さん(中山五月台中2年)
・中尾高江さん(市民) ・森修一さん(市民)

【作文の部】

- ☆最優秀 ・須河内あまねさん(宝塚第一小3年) ・福澤総太さん(宝塚小6年) ・土井由佳子さん(光ガ丘中2年)
・井本優菜さん(雲雀丘学園高1年)

- ☆優 秀 ・児玉玄輝さん(末成小2年) ・藤岡紗月さん(小浜小3年) ・辻井冬和さん(良元小4年)
・辻拓巳さん(丸橋小6年) ・政野昂大さん(高司中2年) ・岡村菜歩さん(宝梅中3年)
・東里音さん(雲雀丘学園高1年)

【写真の部】

- ☆優 秀 ・武藏夏実さん(宝梅中1年)

※ 最優秀賞・優秀賞入賞者のみを掲載しています。

※ 写真の部では最優秀の該当はありませんでした。

最優秀賞・優秀賞・佳作入賞者は宝塚市のホームページでもご覧いただけます。

学ぶ・スポーツ

教育または人権・平和

↓
宝塚市人権・同和問題啓発入選作品

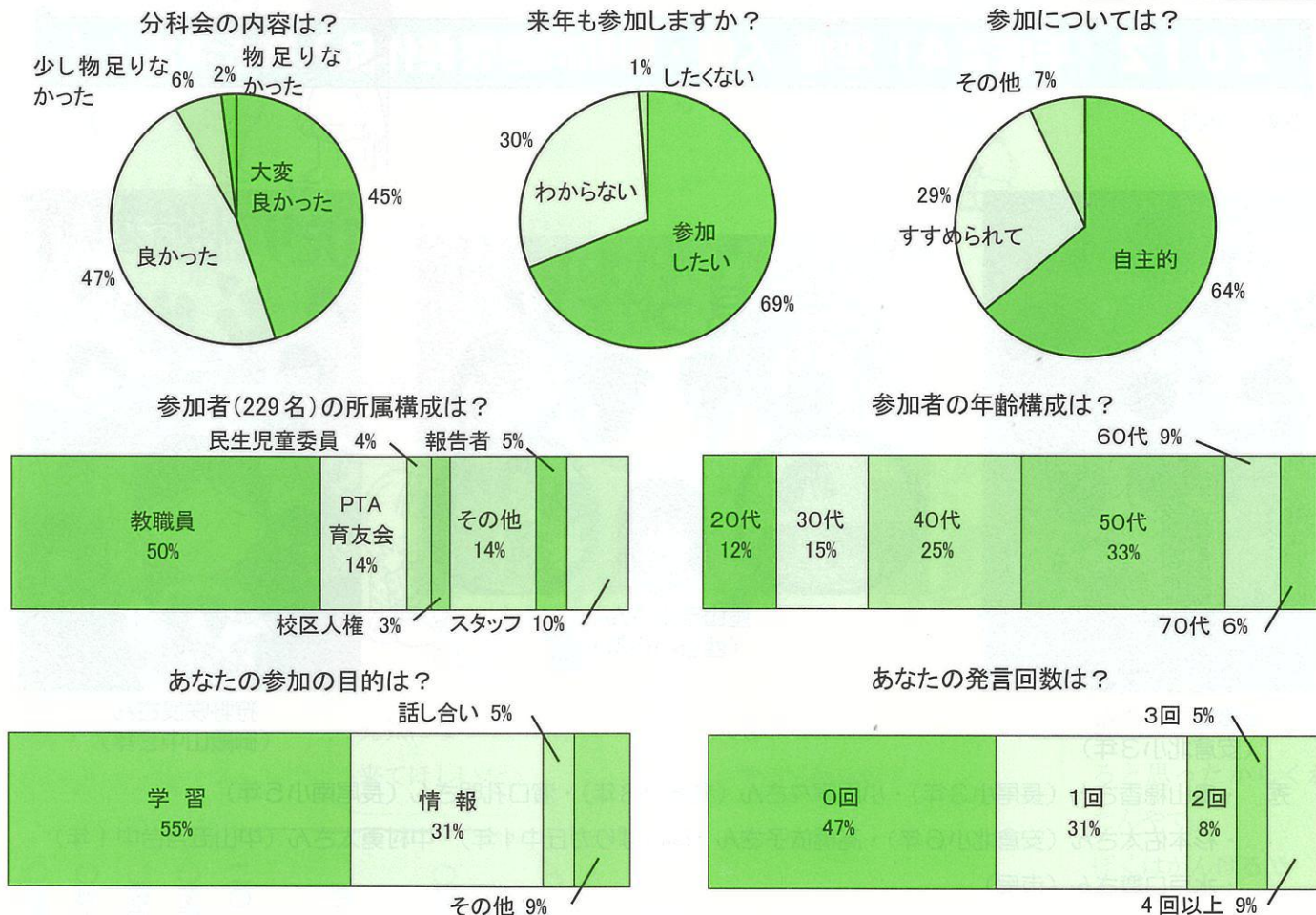
第2回 宝同協研究大会「人権交流学びのつとめ」に229名が参加！

1月19日に開催しました研究大会は、昨年の202名を超えて229名が参加し、多くの成果を得ながら終えることができました。

オープニングでは「小林子ども会エイサー隊」のみなさんから、沖縄に伝わる曲を力強く演奏していただきました。



7つの分科会では、報告者の貴重な報告を聞いた後、熱心に討議がなされました。参加者のアンケート結果と一部ですが感想を紹介します。(アンケート数147名)



自由意見と感想 (アンケートからの抜粋)

- 実際に不登校になられた方の話に涙が出そうになりました。私も子どもたちに「頑張れ！」という言葉をよく使っているなあとドキッとしました。(第1分科会「子どもの人権と親の思い」20歳代参加者)
- 差別された人の像をふくらませること、みんなの意識がかわれば部落差別はなくなるんだということ等、心していきたいと思いました。学ぶこと大事ですね。(第2分科会「人権教育について考える」50歳代参加者)
- 障がい者も健常者も関係なく、一緒に同じような生活を送ることができる世の中になったら、とてもステキな世の中になるでしょうね。(第3分科会「障がいのある人と共に」20歳代参加者)
- 自分には差別意識があると感じました。今の年齢のうちに「それは違う」という指摘も受けたいです。子どもに向き合う時に人として正しくありたいからです。(第4分科会「部落差別について考える」20歳代参加者)
- 阪神大震災から時間が経ち、防災に対する意識がうすれていましたが、報告を聞きながら改めて防災に対する意識や震災の恐ろしさを思い出しました。(第5分科会「阪神と東北の絆」30歳代参加者)
- こういう機会をよりたくさん設けて、より多くの人に人権について考えるきっかけをつくり、社会・行政へ発信していけるとさらに有意義ですね。(第6分科会「外国にルーツをもつ子どもたちのために」40歳代参加者)
- 識字学級も学びであり、人と人とのつながりでもあると思います。来年度は学ぶことは生きることであるという観点から、おとなの学びの分科会を設けてほしいです。(第7分科会「働くという事・学ぶという事」30歳代参加者)

気づいてましたか？ユニバーサルデザイン

知っとう!!
このマーク 4

マークの他にも、障がい者が使いやすいように工夫された設備や商品が増えてきています。

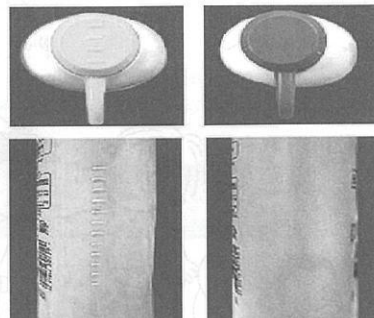
【牛乳パック】

他のジュースと区別ができるように切込みが入っています。



【シャンプーとリンス】

シャンプー容器には、ポンプ部分と側面にギザギザがついていて、リンスと区別できるようになっています。

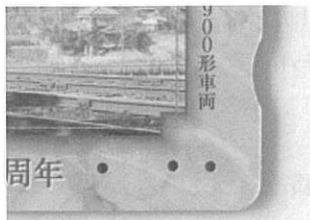


シャンプー

リンス

【缶ビールなどのアルコール飲料】

上部に点字で「おさけ」と記されています。



【プリペイドカード】

切り抜き部分を押し、正確に挿入できるようになっています。

す。

宝塚にはこうして育ちゆく多くの子どもたちがいます。

先生、ボクたちはすばらしい仲間と先生たちがいた中学校を卒業できたこと、ほこりにしてがんばります。

先生たちによろしく！さようなら。

(和久)

先生、お元気ですか。お礼を言いたいことがあります。

高校の入学式の時、中学校からの祝電ですとマイクで紹介されたんです。ハツとしました。中学校の先生みんなが祝ってくれていると、出席した母もメッチャ喜んでいました。ベリーグーでした！

ああ、それから中学校のことだけ、ものすごくよかったです。高校に入ってから思い出されます。ボクの三年生のときのクラスは、ほかもそうだったけど、みんなが仲良く担任の先生もボクたちのことを考えて一生けんめいやってくれて、こんなクラスは最高！と思った。高校でもいじめのこととか、いろいろほかの中学校からきた友人が話すけど、ボクの学級ではいじめなんか考えられなかった。友だちはいろいろな考えを持っていただけで、体育大会や文化祭なんかで、みんながいっしょの気持ちになって、がんばってもくれたり燃えていた。だから、いじめとかはみんなでも何とかできると今でも思っています。

連載 夢と希望はいつか

⑤ いじめ(その2)

もう数年前のことですが、宝塚の中学校を卒業してある私立高等学校に一人進学した生徒から、当時こんな手紙が届きました。

ガッツできらり！ (に)こにこの子も(ガ)ッツできらり(わ)くわく楽しい仁川小 (学校教育目標スローガン)

仁川小学校では、毎年、保護者と共に入権を考えていく「人権・同和参観、懇談会」を実施しています。

今年度は、10月に低学年と高学年を2日に分けて、道徳の授業参観と、その後に懇談会を行いました。

人権は、私たち誰もが幸せに、そして豊かに暮らすために、なくてはならない基本的な権利です。人権・同和教育のねらいは、身近な生活の中の様々な不合理や差別に気づき、それを解決していこうとする意欲や実践力を身につけた子どもを育てることにあります。授業では、しっかり話し合う、ガッツできらり、かがやく子どもたちの姿がありました。

後の懇談会では、人の気持ちを考えて行動すること、被害を受けている人に寄り添う気持ちやそれを知らせる気持ちの大切さについて考え、何でも話せる親子関係・家族の関係など、家庭のあり方にもふれ、人権について話し合いました。

《保護者の感想より》

- ・仲間外れにされたら、どれほどの傷を受けるか、いつも人の気持ちを思いやって行動する心を持ってほしいと思いました。
- ・学習で話し合った大切な内容は、子ども達にとって、お話の中の事だけでなく、実際の生活の中での事で考えられればと思います。(西山)



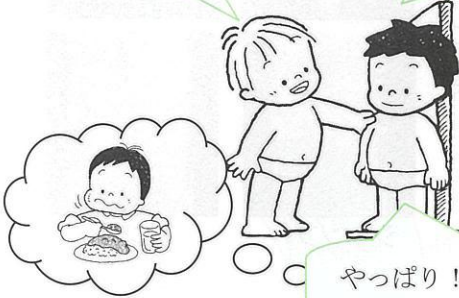
3年 人権・同和教育資料「橋」より

お友だち 大好き おとなもほっこり



大きく
なってるよ～

ねえ、〇〇ちゃん
大きくなってる？



サンタさん
まだ近くにい
るかもしれん
なあ



サンタさん
来てくれる
んかな



サンタさんあ
りがとう♪
またきてね



やっぱり！だって、このごろ
毎日おかわりしてるもん♪

〇〇〇ちゃん、きょう
はお休みやね

全員そろっている
ほうがいいなあ

もうまわらんから
いややわ

せっかくサンタさ
んがくれたんやか
らがんばろうよ



安倉中保育所
子どものつぶやき

元気になって、明日
来てほしいな

もうちょっと
やってみるわ！

そうやで。サンタさん
は、みんなががんばれ
ると思ったからくれ
たんやで。
ぼくはがんばるで

お知らせ

多数のご参加をお待ちしています！

- 〇親子こころぼかばかコンサート 先着300名 入場無料
- 「クッキーズ」によるコンサートとミニミニシカル
- 3/2(土) ソリオホール 10時30分～11時30分(開場10時)
- 二〇二二(平成二五)年度
- 〇宝同協定期総会 5/21(火) 13時30分～ ソリオホール
- 〇阪同教研究大会 7/27(土) 芦屋市
- 〇兵人教研究大会 10/5(土)～6(日) 豊岡市
- 〇全同教研究大会 11/23(土)～24(日) 徳島県

問合せ・学校教育課 電話・77-2040

編集後記

第二回「人権交流学びのつどい」では二九名の参加者があり、7つの分科会では、各テーマに則って活発に意見交換が行われ、実り多き研究大会となりました。

二〇二二(平成二五)年は、「巳年」です。「巳」の特徴は探究心と情熱。蛇は執念深いとされていますが、恩を忘れず、助けてくれた人には恩返しをされると言われています。

「人権交流学びのつどい」では、まさしく、参加者の人権・同和教育に対する熱い情熱をたくさん感じました。

〈編集委員〉黒田・西山・長瀬・水戸口・池澤・

梅田・大塚・和久・坂本